



西浮通信

令和6年10月31日
NO. 407
東京都北区立西浮間小学校
校長 小島 みつる

学校行事で身に付く力

校長 小島 みつる

天候が心配でしたが、「65周年記念運動会」を無事開催することができました。運動会当日、子供たちはみな、自分の決めためあての達成に向けて力を発揮し、また高学年は運動会を支える係活動もやり遂げました。本校は校庭が狭く、保護者席は立ったままのご参観となっておりますが、開会ファンファーレから閉会までたくさんの方々にご声援いただきました。心から感謝いたします。

さて、学校では運動会をはじめ、たくさんの行事を行っています。

- 儀式的行事…入学式、始業式、終業式、修了式、卒業式など
- 文化的行事…学芸会、展覧会、音楽会、スクールコンサートなど
- 健康安全・体育的行事…運動会、健康診断、避難訓練、交通安全教室、セーフティ教室など
- 遠足・集団宿泊的行事…遠足、岩井移動教室、岩井自然体験教室、日光高原学園など
- 勤労生産・奉仕的行事…さくら草栽培、大掃除など



これらの学校行事を通して仲間と一緒にいった体験は学校生活を豊かにします。卒業文集に6年児童が取り上げる内容の多くが「学校行事」の体験に基づくものです。それだけ児童の記憶に残る、とも言えます。そして、児童の記憶に残る大きな理由が、「行事の取組みの充実」にあります。

学校行事は、保護者・地域の皆様の目に触れる「当日」だけではなく、事前の練習から事後までの活動全体で多くの学びがあります。学校行事では全学年で【事前】「自分のめあてをもって練習に取り組む」⇒【当日】「全力を発揮する」⇒【事後】「自分のめあてが達成できたか、行事でどのような力が付いたか、その力をこれからどのように生かしていくか、などを振り返る」といった一連の活動を行っています。この活動を通して、児童は自主的・実践的な態度や、自己有用感、最後までやり抜く力・頑張る力、責任感、仲間の頑張りを認め仲間と協働する力、集団への所属感や連帯感など、共生社会で生きる人として大切な力を身に付けていきます。

運動会では、子供たちは自分のめあてをもち、限られた時間の中で懸命に練習に取り組み、運動することの楽しさ、仲間と協力することの素晴らしさ、全力で取り組むことの大切さ、そして高学年は自分の頑張りで学校生活が変わること

の実感等も味わい、力を付けました。運動会明けの「振り返り」の内容から、子供たち個々の成長が感じられました。当日、体調不良等で欠席してしまっても、それまでの取組みの中で成長してきています。



さあ、次の行事は3年に一度の学芸会です。今月末頃から、実際に演目の練習が始まります。当日の出来映えだけでなく、日々の子供たちの頑張る姿にも目を向け、応援していただけるとうれしいです。



◆本校では全学年が俳句づくりに取り組んでいます◆
「おいお茶新俳句大賞」に応募した中で入賞した作品を紹介します。今回も三年連続で佳作特別賞に入賞しました。この二句は「おいお茶」のペットボトルに載る予定です。(学年は作句した昨年度の学年になっています。)

★佳作特別賞★

・持久走	本気で走って	春を待つ	三年
・なわとびを	百回こえて	進級す	三年
★佳作★			
・夜さん歩	母の手にぎり	冬の月	三年
・まちわびて	ゆれながら見る	雪の花	三年
・あれちーター	まるで妹	見てみたい	三年
・剃刀の	当たる瞬間	春隣	教員